

松本 まさなり

News

NO. 43 発行日 2009.10
発行元 形原町北淀尻19-15
市議会議員 松本まさなり事務所
TEL 57-6999 FAX 57-9905
URL <http://www.sk.aitai.ne.jp/~kom-14/>

蒲郡市議会 9月定例会が9月4日開会され、平成20年度一般会計歳入歳出決算の認定や蒲郡市国民健康保険条例の一部改正など27議案3件の意見書を採択し、9月25日閉会しました。市の補正予算には公明党が推進してきた、子育て応援特別手当、女性特有のがん対策事業、緊急雇用創出事業費、学校校舎の耐震化の前倒しなど緊急経済対策として、国の今年度補正予算に盛り込まれた施策があります。新政権によって、蒲郡市の進めてきた施策や事業について財源問題で執行に支障が生じることはないよう行われることを強く求めます。



お知らせ 出産育児一時金が増額！

10月1日より緊急少子化対策として、出産育児一時金が38万円から42万円に引き上げられます。平成23年3月までの暫定措置です。公明党が推進しました。

免許証返納者は住基カード無料

公明新聞8月14日掲載より

蒲郡市は今月3日から、運転免許証を自主返納する70歳以上の高齢者に対して、写真付き住民基本台帳カードを無料で交付する自主返納支援事業を始めた。

運動機能が低下した高齢者の交通事故を減らすため、運転免許証の自主返納を促すのが狙い。

免許証はさまざまな場面で本人確認の公的証明書となるため、自主返納をためらう高齢者が多い。こうしたことから、免許証を返納した人に公的証明書となる写真付き住民基本台帳カードを無料（500円の手数料を免除）で配布することにした。

運転免許証の自主返納支援事業については、公明党の松本昌成市議が今年の3月定例会で取り上げ、住民基本台帳カードの無料配布を提案した。



妊産婦マークをポスターで周知 公明新聞7月19日掲載より.....

蒲郡市はこのほど、マタニティマークを市民に周知するためにポスターを作製、公共施設などの協力を得て掲示を進めている【写真上】。

同市では2年前から、母子手帳の交付時にマタニティマーク入りのキーホルダーを妊婦に配布しているが、市民へのマークの浸透が思うように進んでいないことからポスターを通して妊婦への気遣いを呼び掛けることにした。

用意したポスターは1000枚。マタニティマークを中心に、「近くでたばこを吸いません」「何気ないひとこと、心配りがとてもうれしい」などの呼び掛けとともに、受動喫煙の有害性をイラスト入りで説明している。

マタニティマークについては2006年6月定例会で、公明党の松本昌成市議が早期導入を提案するなど普及を推進してきた。

